

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15010010

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	消防団活性化事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	15 消防支署		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	消防団員数			#N/A		
事業目標	110人		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服整備 ・女性団員新基準被服整備	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入 ・女性団員新基準被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入
	事業費(千円)	24,100	5,000	5,200	4,400	4,800
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	24,100	5,000	5,200	4,400	4,800	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	15,807	4,857	3,325	4,001	3,624
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	15,807	4,857	3,325	4,001	3,624	
特定財源の名称		(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入 ・女性団員新基準被服購入	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	103人	104人	105人	107人	110人
	年度達成率	97%	64%	91%	76%	0%
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	34%	51%	66%	66%
	備考欄					

事業名	消防団活性化事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	庶務係長	村田 康朗

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	団員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防団員の確保及び訓練等による組織の活性化								
【抱える課題やニーズは】	若年層の新規入団を望んでいるが、少子高齢化社会の影響並びに地元での就職が減少しているため、入団対象者が少なく消防団活動の魅力アピールし、入団促進を強化することが課題である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	魅力ある消防団活動の実現を目指した。	① 消防団員数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>107人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>106人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>99.1%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	107人	実績値	106人	達成度	99.1%
目標年度	平成28年度										
目標値	107人										
実績値	106人										
達成度	99.1%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	・消防団員数の確保(男性団員100人:女性団員10人) ・消防団員の技量向上	② 訓練回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>5回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	5回	実績値	5回	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	5回										
実績値	5回										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	呼びかけ	消防団幹部から協力事業所等への呼びかけ									
	被服の支給	新入団員に消防団活動に必要な被服等を支給									
	訓練費用	火災や災害を想定した訓練時に出勤費を支給									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の生命財産を災害から守るため、各種訓練及び研修を通じた団員の技術向上を目標とすることが必要であることや、また、団員の高齢化が進むなか若年層の新規入団も必要とされる。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	訓練出勤率については、ほぼ達成され、団員数については幹部団員の退団及び町外への転出等により目標値を1人下回ったが、女性団員10人を確保することが出来たので、全体の目標はほぼ達成されたと評価する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	若年層団員の積極的な研修参加及び各種訓練の実施を強化したことにより、消防技術と精神面が向上し、災害現場等での効率的な活動が期待出来るため、活動時間の短縮につながるものと考える。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	また、団員確保のため町内の各企業に入団促進を呼びかけた。

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全町民を対象とした事業のため、公平と評価する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
平成28年度の団員確保数は目標値を1人下回ったが、女性団員については10人の確保を達成することが出来た。今後は男性団員の入団促進について改善が必要と評価する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
町民の防災意識の高揚、雄武町としての防災体制の重要性を考慮し、今後も継続していく必要がある。また、男性団員の確保について、消防団幹部の協力を得て、入団促進をより一層強化する。		

※展開方向の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
終了 休止 廃止